

献穀事業（新嘗祭）の趣旨及び経緯

皇室行事の一つである新嘗祭は、毎年11月23日に天皇陛下が新穀を神々に供えられ、ご自身も食される収穫と感謝の御祭りであり、この御祭りに供する米と粟を全国の都道府県の農家から奉獻される事業を献穀事業と言います。

この事業は、令和5年度で131回目を数える歴史的、伝統的な行事です。五穀豊穰を祈り、収穫を感謝する神事のほか、民俗芸能、文化の保護育成や、農業の大切さを広く認識してもらう役割を果たしています。

なお、この献穀事業は、明治25年に当時の富田東京府知事以下、全国の知事らが連署をもって新嘗祭のお供えを各県より奉獻させていただきたいとの請願を宮内大臣に出され、許可されたのが始まりと言われています。

献穀品

- 精米(白米)
1.8リットル (1升)
- 精 粟
0.9リットル (5合)



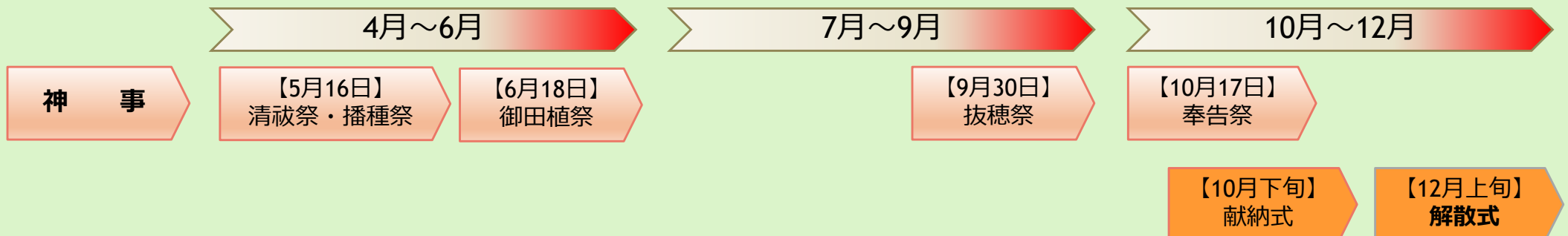
八代地域の実施状況

昭和33年	八代市	西片町
昭和46年	八代市	平山新町
	泉 村	栗木
昭和58年	泉 村	下岳
平成 5年	東陽村	北
平成15年	坂本村	鶴喰
平成25年	氷川町	高塚（竜北）
令和 5年	八代市	川田町東

熊本県内の実施状況

平成28年	宇土市
平成29年	荒尾市
平成30年	上天草市
令和 元年	嘉島町
令和 2年	阿蘇市
令和 3年	錦町
令和 4年	山鹿市
令和 5年	八代市

スケジュール



八代市献穀事業②

①「清祓祭・播種祭」 5月16日（火）

田を清め、粃種を播き1年の豊作を祈念



②「御田植祭」 6月18日（日）

早乙女・田男等による田植え



③「抜穂祭」 9月30日（土）

早乙女・田男等による稲刈り



④「奉告祭」 10月17日（火）

無事に収穫できたことを神様に報告



⑤「献納式」 10月下旬

皇居にて天皇に献穀米・献穀粟を献納



【実施体制】

■八代市献穀事業推進協議会

- ・ 献穀事業推進計画の策定・予算の決定
- ・ 神事・式典の主催者
- ・ 献穀者の選定

など

●八代市献穀事業実行委員会

- ・ 献穀事業推進計画の実施、予算執行
- ・ 各神事の実施計画の策定、実施主体
- ・ 栽培管理指導

など

●献穀事業実施地区住民の方々

- ・ 神事・式典の会場設営協力・参加
- ・ 栽培作業への協力
- ・ 献穀田の草刈り・見回り

など